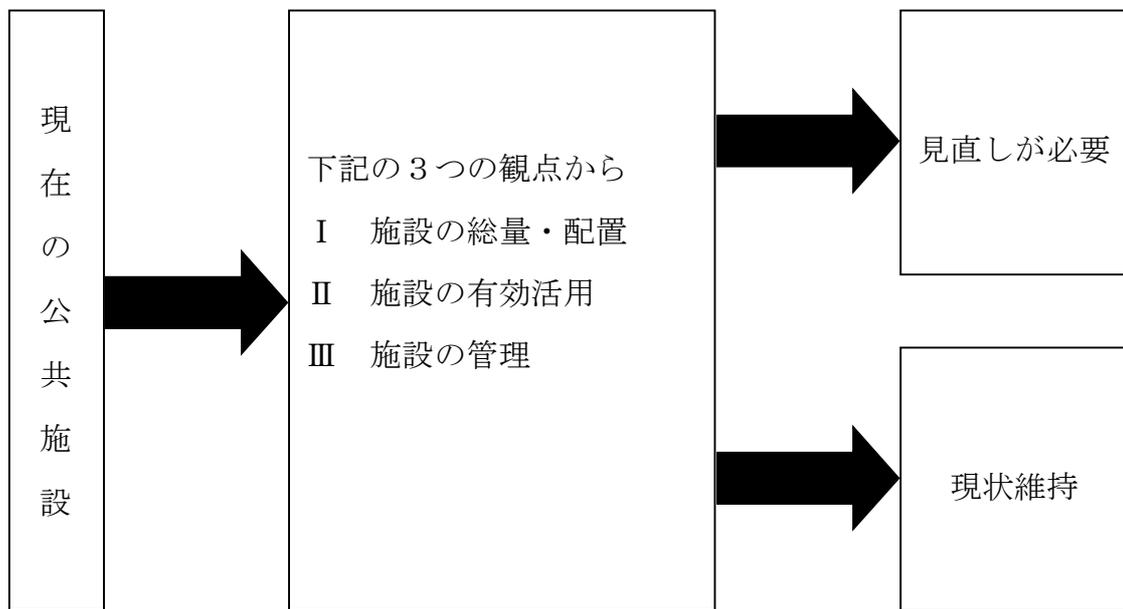


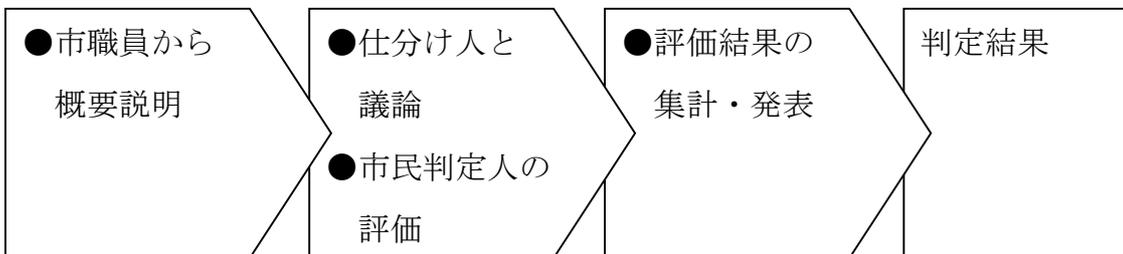
富津市事業仕分けについて

事業仕分けって何？

市の事業について、必要性・方法などを公開の場で外部の視点で議論し、市民の皆さんの視点で判定していただく手法です。今回は市民の皆さんの誰もが利用できる身近な公共施設を対象に実施します。



事業仕分けの流れ



※この判定結果は、市の最終決定ではありません。

市民判定人とは？

仕分け作業（議論）を傍聴し、施設の評価判定を行う人です。

市民判定人は、15歳以上の市民の中から無作為抽出方式で1,500名の方を抽出し、参加の回答を得た方です。

コーディネーター・仕分け人とは？

【コーディネーター】

仕分け作業（議論）を進行し、議論をまとめる人

政策シンクタンク「構想日本」のスタッフ

【仕分け人】

仕分け作業（議論）の中で、対象施設について質疑応答等の議論をする人

政策シンクタンク「構想日本」が派遣する有識者

構想日本とは？

非営利の政策シンクタンクで行財政改革などについて、様々な提案を行うとともに、提案した政策の実現に向けた実践活動に取り組んでいる団体です。

実施方法

実施方法：市民判定人方式

市民判定人方式とは、コーディネーターと仕分け人で仕分けチームを結成し、市民判定人の方が議論を傍聴して評価する方法です。

仕分け作業は、仕分けチーム1班で実施。市民判定人が議論を傍聴しながら施設評価シートを記入し、その施設評価シートの判定結果の多数決で施設の評価を行います。

事業仕分け対象施設の選定

富津市内の公共施設を対象に下記の基準を満たすもの。ただし、既に方針が決定している施設や別途有識者会議等で検討中の施設を除きます。

- ① 不特定多数の者が利用する施設
- ② 市民の生活に直結している施設

以上の条件から、比較的施設面積の割合の大きいものを選定しました。

市民文化系施設

市民の皆さんに最も身近な集会・貸館機能をもつ施設は数も多く、今後のあり方や集約等の可能性などについて議論していきます。

スポーツ・レクリエーション、公園施設

民間活力を生かした有効活用の方策など、施設のプラス面に着目し、議論していきます。